

報 告

- ◎ [アフガニスタン農業牧畜省副大臣が当所を視察](#)
- ◎ [第4回子ども樹木博士認定会開催](#)
- ◎ [当所職員が水文・水資源学会学術賞を受賞](#)

◎ [アフガニスタン農業牧畜省副大臣が当所を視察](#)

去る8月20日午後、アフガニスタン農業牧畜省のMohammad SHARIF副大臣が当所を視察しました。田中理事長、沢田海外担当研究管理官が研究概要を説明した後、地球温暖化影響実験棟へご案内し、地球環境に関わる諸問題について意見の交換を行いました。副大臣は灌漑水資源や砂漠化の問題、また戦乱後の人材育成の困難さについて話をされました。



理事長の研究概要説明を聞く
Mohammad SHARIF副大臣（右）

◎ [第4回子ども樹木博士認定会開催](#)

去る8月24日（日）、第4回子ども樹木博士認定会を開催しました。

これは、「子ども樹木博士」認定活動推進協議会が推進するもので、樹木のふれあいを通じて森林と環境と自然科学について学びきっかけを作ることを目的に行われています。参加者は、樹木の名前を覚え、覚えた数に応じて「子ども樹木博士」の認定資格が得られるというものです。当所での開催は4回目です。

子ども樹木博士認定会開催のお知らせを当所ホームページやマスコミを通じて流すとともに、ポスターやちらしを公民館や児童館などへ配布しました。茨城県内はもとより遠くは東京や埼玉からの応募もあり、例年を上回る応募状況から、講師として対応する研究職員の数を大幅に増員して対応することにしました。当日は子どもの参加者47名、付添の両親等も含めると総勢92名の参加者となりました。

参加者は、所内の40種類の樹木を当所研究者の解説を聞きながら覚え、子ども樹木博士認定試験に臨みました。全問正解最高位4段の子ども樹木博士が16名誕生し、参加者全員に藤原理事より認定証が渡されました。この子ども樹木博士認定会には新聞社の取材もあり、その模様は新聞紙上に写真入り記事にて紹介されました。



樹木園内で講師の説明を受ける参加者



午後の部に参加の皆さん



試験会場風景



答案を採点する研究員

◎ [当所職員が水文・水資源学会学術賞を受賞](#)

気象環境研究領域主任研究官の渡辺力氏が、水文・水資源学会学術賞を東京工業大学神田学助教授と共同で受賞しました。対象となった論文は、「神田学・渡辺力・M.O.Letzel・S.Raasch, 2002: LESによる熱収支インバランス問題に対する検討。(第1報) 大気境界層スケールの対流構造の影響。水文・水資源学会誌、15, 243-252.」及び「渡辺力・神田学, 2002: LESによる熱収支インバランス問題に対する検討。(第2報) 水平一様な植生キャノピー層を含む中立接地境界層における検討。水文・水資源学会誌、15, 253-263.」です。

この研究成果の概要は、森林総合研究所平成14年度研究成果選集に「森にふく風の渦構造をコンピュータシミュレーションでとらえる」という課題で掲載されています(p.16~17)。また、当所ホームページでも御覧いただけます。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/kouho/seika/2002-seika/6.htm>